



神経内科とは?	1ページ
医療安全管理室からのお知らせ④/「やまばとギャラリー」情報コーナー	2ページ
三重病院でのQCサークル活動について/医療福祉相談室だより/5病棟の生活のひとこま⑩	3ページ
三重病院 通所(つうえん)利用者 大・大募集!!/外来からのお知らせ/外来診察のご案内	4ページ

神経内科は、精神科、精神神経科、神経科、心療内科とよく間違えられます。これらの科は、うつ病など精神的な問題を扱う科ですが、神経内科は、脳、脊髄、神経、筋肉の病気を発見・治療する内科であり、神経内科医は脳から筋肉に至るまで、多くの種類の病気を診療します。神経系は他の臓器と異なり、全身に存在するため、神経系が障害された時の症状は多彩であり、さらに、血液検査など通常の検査で異常が出ない病気が多いので、診断のためには詳細な病歴聴取や神経診察が重要になります。

## ■神経内科の代表的な病気

### [頭痛]

脳腫瘍、髄膜炎、くも膜下出血など脳の病気の症状としてみられる頭痛と、他に原因がなく、CTやMRIによる脳画像検査で異常がない頭痛に分けられます。後者では、片頭痛、緊張型頭痛、群発頭痛の3つが代表的な疾患です。鎮痛薬を過剰に服用すると頭痛がひどくなることがあり、薬物乱用性頭痛と呼ばれます。通常の鎮痛薬が無効な片頭痛に有効な薬も開発されています。

### [認知症]

アルツハイマー型認知症、レビー小体型認知症、脳血管性認知症が3大認知症です。アルツハイマー型認知症では物忘れ、レビー小体型認知症では幻覚の症状が目立ちます。高血圧や糖尿病などの生活習慣病の方は認知症になりやすく、日頃の運動習慣や知的活動をしている方は認知症になりにくいことがわかってきました。

### [脳卒中]

脳の血管が詰まったり、破れたりして、脳の機能が障害されます。急に片側の手足が動きにくくなったり半身の感覚が麻痺してしまったりします。高齢者、高血圧や

## 神経内科とは?



糖尿病の方は脳卒中を起こしやすいことが知られています。脳卒中は寝たきりと介護の対象となる最大の病気ですが、危険因子の管理や生活習慣の改善により予防可能な病気です。

### [てんかん]

小児だけではなく成人にも多い病気です。けいれんを繰り返せばてんかんの可能性が高くなりますが、けいれんがなくても、急に反応がなくなったり、

物忘れなど認知症によく似た症状が出たりするので、認知症と間違えられることがあります。成人に起こるてんかんの多くは、脳血管障害、脳腫瘍、認知症、脳炎など脳の病気に随伴します。ほとんどの方が薬で発作を予防できます。

### [パーキンソン病]

中年以降の方に多く、何もしていないのに手がふるえたり、動作が鈍くなったりする病気です。脳の中心部分にある黒質のドパミン神経細胞が減り、脳内でドパミンが欠乏することにより発症します。根本的な治療法はまだありませんが、症状を改善できる薬があります。

### [神経難病]

はっきりした原因や治療法がない神経の病気のことをいいます。具体的には筋萎縮性側索硬化症、多系統萎縮症、脊髄小脳変性症などがあります。

頭痛、物忘れ、しびれ、めまい、ふるえ、力が入らない、歩きにくい、しゃべりにくい、むせる、けいれん、物が二重に見える、このような症状があれば神経内科を受診して下さい。神経内科についてさらに詳しく知りたい方は、神経内科の認知・啓発を促進する活動を行っている神経内科フォーラムのホームページ

(<http://www.neurology-forum.org/>)をご覧ください。

(神経内科部長 佐々木 良元)